

もくじ



はじめに 2
 かんさつするときのやくそく 3

昔の人の言葉をのぞいてみよう 6
 『万葉集』の歌で詠まれた秋の七草 8
 秋の七草をおぼえよう 10

萩
 ヤマハギのひみつをさぐる 12
 ヤマハギのつくりとくらし 14
 ヤマハギのまめ知しき 16
 こう葉をさがそう 18

尾花
 おばな
 ススキのひみつをさぐる 20
 ススキのつくりとくらし 22
 ススキのまめ知しき 24
 風を利用して実やタネを旅立たせる植物 26

葛
 くず
 クズのひみつをさぐる 28
 クズのつくりとくらし 30
 クズのまめ知しき 32
 クズで見つかるこん虫のしわざ 34

撫子
 なでしこ
 カワラナデシコのひみつをさぐる 36
 カワラナデシコのつくりとくらし 38
 カワラナデシコのまめ知しき 40
 『万葉集』で詠まれる秋の植物 42

女郎花
 おみなえし
 オミナエシのひみつをさぐる 44
 オミナエシのつくりとくらし 46
 オミナエシのまめ知しき 48
 こん虫がおとずれる秋の植物 50

藤袴
 ふじばかま
 フジバカマのひみつをさぐる 52
 フジバカマのつくりとくらし 54
 フジバカマのまめ知しき 56
 植物のかおりを楽しもう 58

朝貌
 あさがお
 キキョウのひみつをさぐる 60
 キキョウのつくりとくらし 62
 キキョウのまめ知しき 64
 つぼみを楽しもう 66

『万葉集』で詠まれる春夏秋冬の植物 68

さくいん 70
 参考文献 72



本書の見方

一般的によばれる名前。かつこの中の名前はべつ名です。

植物がぞくする科名を表記しました。

花が見られる主な月を表記しました。



植物の生活形を表記しました。たとえば「多年草」は、生育する期間が3年以上にわたる草のことです。

植物が生育する日本のおおまかな地いきを表記してあります。日本にもともと生えていない植物は、「中国原産」や「北アメリカ原産」など、原産地を表記しました。

ヤマハギの ひみつをさぐる

あき ななくさ なか
秋の七草の中でハギ（ヤマハギ）は、ゆいいつの木です。
やまのうえのおくら あき ななくさ わ か いちばん
山上憶良の秋の七草の和歌で、一番はじめに出ています。
ヤマハギは、どのような植物しよくぶつなののでしょうか？

はぎ
萩

ヤマハギの つくり と くらし

● マメ科 ● 7~10月 ● 北海道~九州 ● 落葉低木

野山でよく見られる木で、チョウのような形をした花をつけます。
地面の近くからえだが長くのびて、高さ2mほどに育ちます。

花



えだ先の葉のわきから「花へい(下の矢印)」をのぼして、赤むらさき色の花をたくさんつけます。



葉



まるい形の葉は、3まいがセットになっています。葉の表面は明るい緑色で、うら面には短い毛が生えています。



3出複葉



単葉

この3まいがセットになっている葉は、1まいの葉(単葉)が小さな3つに分かれたものです。このようなつくりの葉を、「3出複葉」とよびます。

実



花がおわると、平たい円形の実ができます。かたいタネがひとつ入っています。実はじゅくすと地面に落ちて、タネは土の中で休みんします。

黄葉もきれいな ヤマハギ

秋が深まると、ヤマハギの葉の色は黄から茶になっていきます。冬に葉を落とす木の中には、秋になると葉がきれいな赤や黄に色づくものがあります。これは、夏に葉の中にあつた緑の色素がへっていき、そのかわりに葉の中の、赤や黄の色素が目立つようになるからです。



▲黄葉したヤマハギ